

2024年度 入学試験要項

看護学研究科 看護学専攻

博士前期課程

博士後期課程



四天王寺大学大学院

目 次

建学の精神（本学の使命）	1
学園訓	2
教育研究の目的	2
「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）	3
I 博士前期課程（一般選抜・社会人選抜）	4
II 博士後期課程	10
III 事前相談について	14
IV 出願資格の事前審査	19
V 多様な受験生、不慮の事故等による負傷者・疾病者等への対応について	20
VI 受験するにあたって	20
VII 入学手続	20
VIII 学費等	21
IX 入学辞退	21
X 交通手段について	22

建学の精神（本学の使命）

「^{き え かつごう}帰依渴仰 ^{だんなくしゅぜん}断悪修善 ^{そくしょうむじょうだいぼだいしよ}速証無上大菩提処」

本学は、学校法人四天王寺学園が設置している大学院、大学および短期大学です。

学校法人四天王寺学園は、教育関係諸法に従い、聖徳太子の仏教精神に則って教育を行うことを建学の精神とする学園であります。

聖徳太子は、推古元年（西暦 593 年）に四天王寺を創建し、^{きょうでんいん}敬田院とされました。その設立の精神は「^{きえかつごう}帰依渴仰 ^{だんなくしゅぜん}断悪修善 ^{そくしょうむじょうだいぼだいしよ}速証無上大菩提処」であり、それは、全ての生きとし生けるものが、仏教に帰依し、深く信じ、悪を断ち、善を修め、速やかに仏の悟りを得て、その境地に達することのできる場所を意味します。また、敬田院と同時に、国家の基礎であり、仏教の重要な教えである慈悲行の実践の場所として、^{せやくいん}施薬院・^{りょうびょういん}療病院・^{ひでんいん}悲田院を設立して^{し かいん}四箇院とされました。敬田院で研鑽を積んだ人材が、他の三院の運営に関わり、平和で人々が幸せに暮らせる国づくりに尽力しました。その敬田院の精神を建学の精神として、大正 11 年（西暦 1922 年）に聖徳太子 1300 年御忌記念を機として、学校法人 四天王寺学園は創立されました。

創立以後、聖徳太子のご偉業の中から、三経義疏（勝鬘經義疏・維摩經義疏・法華經義疏）を撰述されたことを受け、特に勝鬘夫人・維摩居士を範とした教育を打ち出し、また聖徳太子が制定された十七条憲法に準拠して学園訓を制定しました。十七条憲法の第一条「和を以て貴しとなす」に象徴される「和の精神」により、道德観・倫理観を涵養し、勉学・スポーツ等において自己を徹底して磨く教育を実践してきました。社会には時代ごとに国内外を問わずあらゆる課題が存在しますが、その課題解決のために、利他の心を起こし、磨き上げた自己の知識・技能をもって、人々に寄り添える人材を育成することが本学園の使命であります。

先にのべた敬田院設立の精神は、教育的には次のように理解できます。

「他者や物事の内に潜む善さを信じ、その実現を心より願うところに、自己の善さの実現も可能となります（帰依渴仰）。そのためには人々や物事の善悪を深く思慮し、相互に省みることによって悪を断つとともに、善の実践に努めなければなりません（断悪修善）。そうすることで、速やかにそれぞれの善さを実現することが可能となります（速証無上）。他者にとっての善さは私にとっての善さでもあり、社会への貢献とはそうした相互の善さを具現化する営みに他なりません。そのための思慮と省察を積み重ねることによって、私たちは他者と共に己の計らいを超えた生命のもとで、生きる意味を覚えることができるのです（大菩提處）。」

善さとは、あらゆるものの内に潜んでいるそのものらしさ、本来の姿、真実のあり方のことを指します。「^{しよあくまくさ}諸悪莫作、^{しよぜんぶぎよう}諸善奉行」とは太子が、生涯大事にされた經典の一句であります。その意味は、自分の感情や欲望への執着に囚われた自我に気づき、それを超えて本来の自己の善さを実現しようとする行為は、他者や物事の本来の善さの実現を願い、他者と関わろうとする行為と一体のものであるということを表しています。太子は、現実社会を「^{せけんこけ}世間虚仮」と見て、これを^{ゆいぶつぜん}超えた仏の無我の世界を「唯仏是真」とし、それに向かって人々が共に手を携え、真実に生きる道を示されたのです。

学園訓

一、和を以て貴しとなす

一、四恩に報いよ

四恩とは

国の恩

父母の恩

世間の恩

仏の恩なり

一、誠実を旨とせよ

一、礼儀を正しくせよ

一、健康を重んぜよ

教育研究の目的

本大学院は、聖徳太子が四天王寺を創建された精神にのっとり、学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を極めて、文化の進展と人類の福祉に寄与することを目的とする。

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力またはこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とします。

博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とします。

「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

【博士前期課程】

.....

- ①看護学の基礎的能力を有し、深い洞察力を持ち、自らの看護観を表現できる人
- ②看護専門職としての自覚と誇りを持ち、看護の質向上を目指せる人
- ③看護学の教育者・研究者への強い動機を有し、論理的思考のできる人
- ④看護専門職者として、生涯学習への強い動機を有し、それを実現できる人

【博士後期課程】

.....

- ①実践・教育などの多様な場においてリーダーシップを発揮できる人
- ②看護学の発展に寄与できる研究力及び教育力を身につけるための強い意志を有する人
- ③学際的・国際的な視野を持ち、看護実践・看護学の発展・変革を目指せる人
- ④自らが専門とする看護実践・看護学を深め、次世代の育成を目指す人

I 博士前期課程〈一般選抜・社会人選抜〉

1 研究科・専攻および入学定員

研 究 科	専 攻	課 程	入 学 定 員
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程 ●研究者コース ●専門看護師コース	6名

2 授業科目

(看護学研究科看護学専攻博士前期課程)

共 通 科 目			看護理論
			看護研究Ⅰ(総論)
			看護研究Ⅱ(統計)
			看護倫理
			国際看護論
			哲学的人間論
			看護教育論
			看護管理論
			コンサルテーション論
			看護政策論
			フィジカルアセスメント
			最新病態生理学
			臨床薬理学
専 門 科 目	基 盤 看 護 学 分 野	基 礎 看 護 学 領 域 研究者	基礎看護学特論
			基礎看護学演習Ⅰ
			基礎看護学演習Ⅱ
			基礎看護学特別研究
		精 神 看 護 学 領 域 研究者 専門看護師	精神障害者制度・法律特論
			精神科アセスメントと精神科診断学
			精神療法
			精神科薬物療法
			精神看護高度実践看護介入技法
			精神障害者ケースマネジメント支援論
			リエゾン精神看護学
			認知症治療看護援助論
			役割開発実習
			精神科診断・治療実習
			精神看護直接ケア実習
			精神看護サブスペシャリティ実習
			相談・調整実習
			精神看護学課題研究
			精神看護学特別研究
	生 涯 発 達 看 護 学 分 野	母 性 看 護 学 領 域 研究者	母性看護学特論
			母性看護学演習Ⅰ
			母性看護学演習Ⅱ
			母性看護学特別研究

専 門 科 目	生涯発達看護学分野	小児看護学領域 研究者	小児看護学特論
			小児看護学演習Ⅰ
			小児看護学演習Ⅱ
			小児看護学特別研究
		成人看護学領域 研究者	成人看護学特論
			成人看護学演習Ⅰ
			成人看護学演習Ⅱ
			成人看護学特別研究
		老年看護学領域 研究者 専門看護師	老年看護学特論Ⅰ(老年看護学の基盤)
			老年看護学特論Ⅱ(健康生活評価)
			老年看護学特論Ⅲ(病態・治療論)
			老年看護学特論Ⅳ(看護実践論)
			老年看護学特論Ⅴ(サポートシステム)
			老年看護学演習Ⅰ(慢性期における老年看護)
			老年看護学演習Ⅱ(ケア施設における老年看護)
			老年看護学実習Ⅰ(慢性期における高度実践老年看護)
			老年看護学実習Ⅱ(ケア施設における高度実践老年看護)
			老年看護学課題研究
			老年看護学特別研究
	広域看護学分野	公衆衛生看護学領域 研究者	公衆衛生看護学特論
			公衆衛生看護学演習Ⅰ
			公衆衛生看護学演習Ⅱ
			公衆衛生看護学特別研究
		在宅看護学領域 研究者	在宅看護学特論
			在宅看護学演習Ⅰ
			在宅看護学演習Ⅱ
			在宅看護学特別研究
		災害看護学領域 研究者 専門看護師	災害看護対象論
			災害看護ケア論
			災害と制度
			災害看護援助論
			防災・減災看護論演習
			要援護者看護援助論
			災害看護連携論
			災害看護学実習Ⅰ
			災害看護学実習Ⅱ
			災害看護学実習Ⅲ
			災害看護学実習Ⅳ
			災害看護学課題研究
			災害看護学特別研究

修了要件

博士前期課程の標準修業年限は2年とする。ただし、社会人で長期履修制度を希望する学生の修業年限は3年とする。

研究者コース

合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

専門看護師（高度実践看護師）コース 精神看護学・老年看護学・災害看護学

合計42単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。

3 募集人員

研究科	専攻	課程	選 抜	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程	一 般 選 抜	6 名
			社 会 人 選 抜	

4 試験日程等一覧

選考区分	9 月 選 考		2 月 選 考	
	一 般 選 抜	社 会 人 選 抜	一 般 選 抜	社 会 人 選 抜
出 願 期 間	2023年 8 月15日(火)～8 月25日(金) 締切日消印有効		2024年 1 月9日(火)～1 月19日(金) 締切日消印有効	
試 験 日	2023年 9 月 9 日(土)		2024年 2 月 3 日(土)	
合 格 発 表	2023年 9 月16日(土)		2024年 2 月 9 日(金)	
入学手続期間	[入学金] 2023年 9 月19日(火) } 2023年10月 6 日(金)	[授業料等] 2023年 9 月19日(火) } 2024年 1 月19日(金)	[入学金・授業料等] 2024年 2 月12日(月)～ 2 月23日(金)	

5 試験時間・科目

選 抜	試験時間・科目			
一 般 選 抜	9：30～11：00	11：20～12：20	13：10～14：10	14：30～
	小論文〔90分〕 (100点)	外国語(英語)〔60分〕 (100点)	専門科目〔60分〕 (100点)	面接
社 会 人 選 抜	9：30～11：00	11：20～		
	小論文〔90分〕 (100点)	面接		

6 試験内容

入学者選抜は、筆記試験、面接試験及び出願書類審査により、アドミッション・ポリシーに基づいて総合的に評価する。

(一般選抜)

〔小論文〕専攻する看護領域の看護に関する1～2問の設問に対する論述。

〔外国語(英語)〕専門領域の英語文献を読解する語学力を見る。辞書の持ち込み可（1冊に限る。ただし、電子辞書不可）。

〔専門科目〕看護全般に関する総合問題。

〔面接試験〕提出された志望理由書並びに研究業績等調書を中心におこないます。

(社会人選抜)

〔小論文〕専攻する看護領域の看護に関する1～2問の設問に対する論述。

〔面接試験〕提出された志望理由書並びに研究業績等調書を中心におこないます。

7 試験会場 本学

8 出願資格

【博士前期課程】

本学看護学研究科の前期課程に入学することができる者は、次のいずれかに該当する者とする。なお、入学を希望する者は、あらかじめ出願資格の確認及び希望する研究指導教員と事前相談を行うものとする。

(1)研究者コース入学志願者

- ①大学を卒業した者及び2024年3月までに大学卒業見込みの者
- ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2024年3月までに学位を授与される見込みの者
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- ⑤文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年3月までに学位授与される見込みの者
- ⑦文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- ⑧本学看護学研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で入学までに22歳に達する者

(2)専門看護師コース（精神看護学・老年看護学・災害看護学）入学志願者

上記（1）の①～⑧のいずれかに該当する者で、原則として入学時点で看護実務経験を3年以上有する者

(3)社会人選抜入学志願者

上記（1）の①～⑧のいずれかに該当する者で、社会人選抜に出願できる者は、入学時に医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において実務経験を有する者で、入学後も引き続き勤務を続ける者

9 出願資格における個別の入学資格審査

上記の「出願資格」（1）の⑦、⑧に該当する入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、P.19「出願資格の事前審査」に必要な申請書類を準備し、期限までに提出してください。

10 出願方法

入学検定料を金融機関で振込み、出願書類を出願期間中に**簡易書留速達【締切日消印有効】**で郵送してください。

11 出願先

〒583-8501

大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1 TEL.072-956-3183（直通）

四天王寺大学大学院 入試・広報課

12 出願書類

〔一般選抜・社会人選抜〕

- (1)入学志願票 本学所定用紙を使用。
- (2)長期履修申請書 本学所定用紙を使用。(希望する者のみ提出)※ホームページよりダウンロードもできます。
- (3)写真票 金融機関の収納印を所定の箇所に受け受験票と切り離さず提出してください。
- (4)写真1枚 出願前3ヵ月以内に撮影した脱帽上半身正面、背景無し、縦4cm・横3cmの写真を貼付してください。(カラー写真に限る)。
※試験当日に眼鏡をかけて受験する人は、必ず眼鏡をかけて撮影してください。なお、写真がはがれる場合がありますので、写真の裏面に氏名を記入し、D写真票の所定の欄に貼付してください。
- (5)卒業証明書 出身大学が作成証明したもの(出願前3ヵ月以内に発行のもの)。
大学以外の教育機関で看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、当該校の卒業(見込)証明書。2024年3月までに卒業見込みの者は卒業見込証明書。
- (6)成績証明書 出身大学が作成証明し、厳封したもの(出願前3ヵ月以内に発行のもの)。
出身大学に編転入した者は、それ以前の大学の成績証明書も添付してください。
大学以外の教育機関で看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、当該校の成績証明書を添付してください。2024年3月までに卒業見込みの者は現在履修中の単位修得見込証明書も添付してください。
- (7)志望理由書 本学所定用紙を使用。パソコン、直筆とも可。
※ホームページよりダウンロードもできます。
- (8)研究業績等調書 本学所定用紙を使用。パソコン、直筆とも可。
※ホームページよりダウンロードもできます。

13 長期履修制度

(1)趣旨

職業を有している等の事情により、標準修業年限(博士前期課程2年)での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得することができる制度です。

(2)出願の認定

長期履修を出願することができる者は、入学試験に合格した者のうち次のいずれかに該当する者として、

- ①職業を有する者(正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者)
- ②育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- ③その他やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難な者

(3)修業年限

長期履修の修業年限は、博士前期課程は3年とします。

(4)申請時期・提出書類

入試出願書類と併せて、長期履修申請書を提出してください。

(5)許可

長期履修許可は、可否通知と併せて行います。

許可された者は、入学後、指導教員のもとで長期履修制度に基づき履修します。

14 入学検定料：35,000円

入学検定料は期間内に金融機関で振込み（電信扱い）、取り扱い金融機関の収納印を所定の箇所に受けてください。

- (1) 入学検定料は、どの金融機関からでも振込むことができます（ゆうちょ銀行では現金による振込みはできません）。
- (2) A 入学検定料振込依頼票を含む 4 票は、必要事項を記入のうえ、切り離さずに金融機関の窓口へ呈示し A 入学検定料振込依頼票・B 入学検定料領収書・D 写真票の○印 ①・②・③ の 3 箇所に収納印を受け、A 入学検定料振込依頼票の赤枠部分を打電するよう依頼してください（振込み方法は金融機関の窓口振込みに限りません〈ATM 振込み不可〉）。
- (3) 入学検定料払い込み後、4 票のうち B 入学検定料領収書・C 受験票・D 写真票を受け取り B 入学検定料領収書・D 写真票に収納印が押印されていることを確認してください。D 写真票に収納印のない場合、出願を受け付けません。
- (4) B 入学検定料領収書は**志願者が保管**してください。

15 出願上の注意

- (1) 出願書類の処理には日数を要する場合がありますので、入学検定料の振込み、出願書類の準備・郵送等は早めに行ってください。
- (2) いったん納入された入学検定料および受理した出願書類は、いかなる場合も返還しません。
- (3) 入学検定料未納の場合、また出願書類に不備があった場合、出願を受け付けません。
- (4) 外国で発行される書類については、**英語**か**日本語**に限ります。それ以外の言語による書類は、**公的な第三者機関による日本語訳をしたものの添付**が必要です。

16 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続きに際して、志願者から本学に提供された個人情報については、志願者への連絡、受験票の発送、合否通知、入学手続き者への各種案内の発送、個人が特定されない入試・入学に関する各種統計資料作成、入学後の学内個人データ作成およびこれらに付随する事項を行う為に利用します。

上記の業務の一部を業者に委託する場合、委託業者等に対し漏洩や目的以外の利用を行わないように機密保持契約を義務付け、厳重な管理を行うよう指導します。

17 合格発表

- (1) 合否通知書を受験者全員に送付します（欠席者には送付しません）。
- (2) 学内での掲示は行いません。
- (3) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

Ⅱ 博士後期課程

1 研究科・専攻および入学定員

研 究 科	専 攻	課 程	入 学 定 員
看護学研究科	看護学専攻	博士後期課程	3 名

2 授業科目

(看護学研究科看護学専攻博士後期課程)

専 門 科 目	共 通 科 目	看護科学哲学
		看護学研究方法論
		高等社会統計学
		看護教育学
	基 盤 看 護 学 分 野	基礎看護学特論
		基礎看護学演習
		精神看護学特論
		精神看護学演習
	生 涯 発 達 看 護 学 分 野	母子看護学特論
		母子看護学演習
		成人看護学特論
		成人看護学演習
		老年看護学特論
		老年看護学演習
	広 域 看 護 学 分 野	公衆衛生看護学特論
		公衆衛生看護学演習
		在宅看護学特論
		在宅看護学演習
		災害看護学特論
		災害看護学演習
	特 別 研 究	看護学特別研究

3 募集人員

研 究 科	専 攻	課 程	募 集 人 員
看護学研究科	看護学専攻	博士後期課程	3 名

4 試験日程等一覧

選考区分	9 月 選 考		2 月 選 考	
	一 般 選 抜	社 会 人 選 抜	一 般 選 抜	社 会 人 選 抜
出 願 期 間	2023年 8 月15日(火)～8 月25日(金) 締切日消印有効		2024年 1 月 9 日(火)～1 月19日(金) 締切日消印有効	
試 験 日	2023年 9 月 9 日(土)		2024年 2 月 3 日(土)	
合 格 発 表	2023年 9 月16日(土)		2024年 2 月 9 日(金)	
入学手続期間	[入学金] 2023年 9 月19日(火) } 2023年10月 6 日(金)	[授業料等] 2023年 9 月19日(火) } 2024年 1 月19日(金)	[入学金・授業料等] 2024年 2 月12日(月)～ 2 月23日(金)	

5 試験時間・科目

試験時間・科目		
9:30～11:00	11:20～12:20	13:10～
小論文〔90分〕 (100点)	外国語(英語)〔60分〕 (100点)	面接

6 試験内容

入学者選抜は、筆記試験、面接試験及び出願書類審査により、アドミッション・ポリシーに基づいて総合的に評価する。

〔外国語(英語)〕専門領域の英語文献を読解する語学力を見る。辞書の持ち込み可(1冊に限る。ただし、電子辞書不可)。

〔小論文〕各専門領域に共通する設問に対する論述。

〔面接試験〕提出された研究計画書等を中心におこないます。

7 試験会場 本学

8 出願資格

【博士後期課程】

本学看護学研究科の後期課程に入学することができる者は、次のいずれかに該当する者とする。なお、入学を希望する者は、あらかじめ希望する研究指導教員と事前相談を行うものとする。

- ①修士の学位や専門職学位を有する者及び2024年3月取得見込みの者
- ②外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2024年3月までに授与される見込みの者
- ③外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2024年3月までに授与される見込みの者
- ④文部科学大臣が外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2024年3月までに授与される見込みの者
- ⑤本学看護学研究科において個別の入学資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で入学までに24歳に達する者

9 出願資格における個別の入学資格審査

上記の「出願資格」⑤に該当する入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、P.19「出願資格の事前審査」に必要な申請書類を準備し、期限までに提出してください。

10 出願方法

入学検定料を金融機関で振込み、出願書類を出願期間中に簡易書留速達【締切日消印有効】で郵送してください。

11 出願先

〒583-8501

大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1 TEL.072-956-3183 (直通)

四天王寺大学大学院 入試・広報課

12 出願書類

- (1) 入学志願票 本学所定用紙を使用。
- (2) 長期履修申請書 本学所定用紙を使用。(希望する者のみ提出)※ホームページよりダウンロードもできます。
- (3) 写真票 金融機関の収納印を所定の箇所に受け受験票と切り離さず提出してください。
- (4) 写真 1 枚 出願前3ヵ月以内に撮影した脱帽上半身正面、背景無し、縦4cm・横3cmの写真を貼付してください。(カラー写真に限る)。
※試験当日に眼鏡をかけて受験する人は、必ず眼鏡をかけて撮影してください。なお、写真がはがれる場合がありますので、写真の裏面に氏名を記入し、D写真票の所定の欄に貼付してください。
- (5) 修了証明書 出身大学院が作成証明した課程修了証明書もしくは学位授与証明書。
2024年3月修了見込みの者は、修了見込証明書。
- (6) 成績証明書 出身大学院が作成証明し厳封した課程成績証明書。
2024年3月修了見込みの者は、現在履修中の単位修得見込証明書も添付してください。
- (7) 趣旨要約 修士論文またはそれに代わる論文等の趣旨要約(下記様式にて2,000字以内)。
- (8) 研究計画書 下記様式にそって作成したもの(3,000字程度)。

(様式)

● タイトルを「趣旨要約」(7の場合)または「研究計画書」(8の場合)とし、作成日・氏名・論文テーマ(研究テーマ)を記入してください。

● A4用紙縦長 横書き(PC・ワープロに限ります)。

※(7の場合、タイトルは「趣旨要約」とします。

研究計画書

作成日	〇〇〇〇年〇月〇日作成
氏 名	〇〇 〇〇
研究テーマ	・・・・・・・・・・・・・・・・

➡

研究計画書 ※

作 成 日	〇〇〇〇年〇月〇日作成
氏 名	〇〇 〇〇
研究テーマ	・・・・・・・・・・・・・・・・

〇〇〇・・・・・・・・

13 長期履修制度

- (1) 趣旨
職業を有している等の事情により、標準修業年限(博士後期課程3年)での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得することができる制度です。
- (2) 出願の認定
長期履修を出願することができる者は、入学試験に合格した者のうち次のいずれかに該当する者とします。
 - ① 職業を有する者(正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者)
 - ② 育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
 - ③ その他やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難な者
- (3) 修業年限
長期履修の修業年限は、博士後期課程は4年とします。

(4)申請時期・提出書類

入試出願書類と併せて、長期履修申請書を提出してください。

(5)許可

長期履修許可は、合否通知と併せて行います。

許可された者は、入学後、指導教員のもとで長期履修制度に基づき履修します。

14 入学検定料：35,000円

入学検定料は期間内に金融機関で振込み（電信扱い）、取り扱い金融機関の収納印を所定の箇所に受けてください。

(1)入学検定料は、どの金融機関からでも振込むことができます（ゆうちょ銀行では現金による振込みはできません）。

(2) A 入学検定料振込依頼票を含む 4 票は、必要事項を記入のうえ、切り離さずに金融機関の窓口へ呈示し A 入学検定料振込依頼票・B 入学検定料領収書・D 写真票の○印 ①・②・③ の 3 箇所に収納印を受け、A 入学検定料振込依頼票の赤枠部分を打電するよう依頼してください（振込み方法は金融機関の窓口振込みに限りません〈ATM 振込み不可〉）。

(3)入学検定料払い込み後、4 票のうち B 入学検定料領収書・C 受験票・D 写真票を受け取り B 入学検定料領収書・D 写真票に収納印が押印されていることを確認してください。D 写真票に収納印のない場合、出願を受け付けません。

(4) B 入学検定料領収書は**志願者が保管**してください。

15 出願上の注意

(1)出願書類の処理には日数を要する場合がありますので、入学検定料の振込み、出願書類の準備・郵送等は早めに行ってください。

(2) いったん納入された入学検定料および受理した出願書類は、いかなる場合も返還しません。

(3)入学検定料未納の場合、また出願書類に不備があった場合、出願を受け付けません。

(4)外国で発行される書類については、**英語**か**日本語**に限ります。それ以外の言語による書類は、**公的な第三者機関による日本語訳をしたものの添付**が必要です。

16 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続きに際して、志願者から本学に提供された個人情報については、志願者への連絡、受験票の発送、合否通知、入学手続き者への各種案内の発送、個人が特定されない入試・入学に関する各種統計資料作成、入学後の学内個人データ作成およびこれらに付随する事項を行う為に利用します。

上記の業務の一部を業者に委託する場合、委託業者等に対し漏洩や目的以外の利用を行わないように機密保持契約を義務付け、厳重な管理を行うよう指導します。

17 合格発表

(1)合否通知書を受験者全員に送付します（欠席者には送付しません）。

(2)学内での掲示は行いません。

(3)電話による合否の問い合わせには一切応じません。

Ⅲ 事前相談について

本大学院の受験を希望される方は、出願手続を行う前に、研究テーマ等について志望する研究領域の指導教員への事前相談を必ず行ってください。希望する研究内容の指導教員が不明な時は、○のついた担当教員（研究科長）にご相談ください。

博士前期課程（研究者コース）

分野	研究領域	教員名	研究指導内容	メールアドレス
基礎看護学分野	基礎看護学領域	中山 由美	教育方法、教育効果の検討および教育者や教育の受け手の満足度やストレスなどについて、また、臨床における教育担当看護師や新人看護師の教育方法や教育効果の検討および教育の満足度やストレスなどについて文献検討に基づき研究計画書の立案、また倫理審査の審査を経て、事例研究や計画に沿って調査などを実施し、その結果を修士論文としてまとめる全研究課程を指導する。	y-naka23@shitennoji.ac.jp
	精神看護学領域	就任予定教員	精神看護学について、指導教員のもとで自らの研究課題を設定し、研究計画書を作成し、それに基づく研究の実施並びにその結果を修士論文としてまとめる全過程を指導する。	研究科長上野昌江までご連絡ください。 uenomasa@shitennoji.ac.jp
生涯発達看護学分野	母性看護学領域	戸田 千枝	リプロダクティブ・ヘルス/ライツを基盤に、周産期を含む女性の健康保持・増進およびケアにおける質の向上に寄与する研究を目指し、現象学的看護研究方法によるアプローチを中心として、文献検討を含めた修士論文としてまとめる研究の全過程を指導する。	todac@shitennoji.ac.jp
	小児看護学領域	泊 祐子	セルフケア基礎を基盤に成長発達する子どもの健康課題を深く理解する知識を得て、子どもと家族を取り巻く環境に潜む健康問題および看護実践の課題を探求し、研究に結びつける能力を修得し、修士論文作成の過程を指導する。最近、私が取り組んだ研究テーマは、「医療的ケアや障害のある子どもと家族への看護と開発」や「小児看護学実習における実践と基礎の統合に関する指導方略」であるが、研究課題は学生の経験から掘り起こしている。	tomari@shitennoji.ac.jp
		西元 康世	子どもとその家族への看護実践・家族支援の探求を基盤として、小児看護学・家族看護学に関する研究課題を設定する。文献検討を十分に重ねた上で、研究計画の立案、倫理的配慮の検討、倫理審査の受審、調査、分析を行い、その結果を修士論文としてまとめる全過程を指導する。	yasuyo-n@shitennoji.ac.jp

分野	研究領域	教員名	研究指導内容	メールアドレス
生涯発達看護学分野	小児看護学領域	藤澤 盛樹	子どもと家族へのケアの質向上や子どもと家族のケアに携わる方の力となる研究をめざし、文献検討、研究計画書の作成、倫理審査の受審、調査、分析を行い、その結果を修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。特に、小児救急と子育て支援における課題解決、小児看護学と教育学の学際的な研究に関心を寄せている。	sfuji@shitennoji.ac.jp
	成人看護学領域	福田 和明	成人期にある人々とその家族の健康維持・向上、回復促進、および看護職者のケアの質の向上に寄与する研究を目指し、学生自らの関心に基づき研究課題を焦点化し、研究計画の立案から修士論文作成までの全研究過程を遂行する基礎的能力を修得できるよう指導する。	kfukuda@shitennoji.ac.jp
		藤原 尚子	成人看護領域においてがん検診の動向や受診行動に関する意識や行動変容に向けた予防教育や検診フォローシステムの開発と臨床に適用できる内容について、文献検討を経て研究計画書を作成、計画に基づき事例研究や調査等を実施し、その結果を修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	nfuji@shitennoji.ac.jp
		松尾 ミヨ子	慢性疾患を持つ人とその家族の看護の知識基盤と実践的援助に資する研究計画に基づいて、最新の知見を活かしたデータ収集・分析・考察を行い、論文としてまとめる全過程を指導する。	m-matsuo@shitennoji.ac.jp
		吉川 有葵	移植医療、周術期ならびにクリティカルケア看護に関わる研究課題に関して、研究計画立案から論文執筆までの全研究過程を遂行する基礎的能力を修得できるよう指導する。	yuki@shitennoji.ac.jp
	老年看護学領域	山崎 尚美	人生の最終段階にある高齢者や認知症の人およびその家族の健康や生活を支える支援システムや看護実践について、文献検索に基づき研究計画の立案、倫理審査の審議を経て計画に沿って研究を遂行し、修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	y.naomi@shitennoji.ac.jp
広域看護学分野	公衆衛生看護学領域	上野 昌江 ○	公衆衛生看護学研究の意義、特徴をふまえ、テーマに関しての文献検討に基づき、研究計画の立案、倫理審査、計画に基づき研究を実施し修士論文として研究をまとめる全過程を指導する。	uenomasa@shitennoji.ac.jp
		岡本 啓子	学校生活における子どもの安心安全の確保をめざしたケアの探索、疾病・障害のある子どもの健康課題や支援システムの探索等の研究課題に関して、文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って事例研究や調査等を実施し、その結果を修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	kokamoto@shitennoji.ac.jp

分野	研究領域	教員名	研究指導内容	メールアドレス
広域看護学分野	在宅看護学領域	小林 裕美	在宅で療養する人に対する看護ケア方法の開発や、在宅におけるエンドオブライフケア、在宅における家族支援、訪問看護の質的評価の探究等の研究課題に関して、文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って事例研究や調査等を実施し、その結果を修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	h-koba@shitennoji.ac.jp
		乗越 千枝	在宅ケアに向けた退院指導および継続看護・連携などに関する研究課題に関して、文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って事例研究や調査等を実施し、その結果を修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	norikosi@shitennoji.ac.jp
	災害看護学領域	亀井 緑	国内外において発生した災害に関わる支援方法や看護教育等の研究課題に関して、文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って事例検討や調査等を実施し、その結果を修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	y-kamei@shitennoji.ac.jp
		山崎 達枝	災害看護とは。被災者および救援者のかかわりなど、災害サイクルにそった時間の流れ・発生場所・被災地域の特徴の違いの中で看護職の役割とは何か。これらの研究課題に関して修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	t-ymzk@shitennoji.ac.jp

博士前期課程（専門看護師コース）

分野	研究領域	教員名	研究指導内容	メールアドレス
基盤看護学分野	精神看護学領域	就任予定教員	精神看護学について、指導教員のもとで自らの研究課題を設定し、研究計画書を作成し、それに基づく研究の実施並びにその結果を修士論文としてまとめる全過程を指導する。	研究科長上野昌江までご連絡ください。 uenomasa@shitennoji.ac.jp
生涯発達看護学分野	老年看護学領域	山崎 尚美	老年期にある人々やその家族の健康や生活を支える支援システムや看護実践について、文献検索に基づき研究計画の立案、倫理審査の審議を経て計画に沿って研究を遂行し、修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	y.naomi@shitennoji.ac.jp
広域看護学分野	災害看護学領域	亀井 緑	国内外において発生した災害に関わる支援方法や看護教育等の研究課題に関して、文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って事例検討や調査等を実施し、その結果を修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	y-kamei@shitennoji.ac.jp
		山崎 達枝	災害看護とは。被災者および救援者のかかわりなど、災害サイクルにそった時間の流れ・発生場所・被災地域の特徴の違いの中で看護職の役割とは何か。研究課題に関して修士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	t-ymzk@shitennoji.ac.jp

博士後期課程

分野	教員名	研究指導内容	メールアドレス
基盤看護学分野	就任予定教員	基礎看護学、精神看護学における文献レビュー、研究テーマの検討・決定、研究計画書の作成から研究の実施までの一連のプロセスを通じて、学生の研究テーマに沿い、基礎看護学、精神看護学の視点から課題や問題と考えられる現象を探求するための研究指導を行う。	研究科長上野昌江までご連絡ください。 uenomasa@shitennoji.ac.jp
生涯発達看護学分野	泊 祐子	子どもと家族に関わる看護現象を深く洞察し、看護現象の理解を基に自らの研究課題を見出すプロセスを共に学ぶ。学生の看護実践・教育実践を基に研究課題を追求し、研究デザインの選択・データ分析・結果の解釈・研究論文の作成等のプロセスを指導する。現在、私が取り組んでいる研究テーマは「集中・救急を専門としている看護師の家族看護実践」「高度実践看護師の家族看護実践のための思考とスキル」などであるが、学生自身が看護実践・教育実践の成果研究をされることを期待している。	tomari@shitennoji.ac.jp
	福田 和明	成人期にある人々とその家族の健康維持・向上、回復促進に向けたケアモデルの構築、および看護職者のケアの質の向上に寄与する研究を目指し、学生自らの関心に基づき研究課題を焦点化し、研究計画の立案から博士論文作成までの全研究過程を主体的に遂行する能力を修得できるよう指導する。	kfukuda@shitennoji.ac.jp
	藤原 尚子	慢性期看護領域において、がん検診の受診行動支援プログラムの構築につながる研究指導を行う。文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って研究を実施し、博士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	nfuji@shitennoji.ac.jp
	松尾 ミヨ子	慢性期看護の研究課題の究明に有効な理論、概念、研究枠組み、研究方法による研究計画を遂行することにより、研究目的から考察まで、論理的・一貫性をもつ博士論文としてまとめる。最新の知見を活かした妥当性と信頼性を確保したデータ収集・分析・考察を行う。	m-matsuo@shitennoji.ac.jp
	吉川 有葵	移植医療、周術期ならびにクリティカルケア看護に関わる研究課題に関して、研究計画立案から論文執筆までの全研究過程を遂行する基礎的能力を修得できるよう指導する。	yuki@shitennoji.ac.jp
	山崎 尚美	老年期にある人々やその家族の健康や生活を支える支援システムや看護実践について、文献検索に基づき研究計画の立案、倫理審査の審議を経て計画に沿って研究を遂行し、博士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	y.naomi@shitennoji.ac.jp

分野	教員名	研究指導内容	メールアドレス
広域看護学分野	上野 昌江 ○	公衆衛生看護学研究の意義、特徴をふまえ、テーマに関する文献検討に基づき、研究計画の立案、倫理審査、計画に基づき研究を実施し博士論文として研究をまとめる全過程を指導する。	uenomasa@shitennoji.ac.jp
	岡本 啓子	学校生活における子どもの個人または集団の生活と健康の向上をめざした支援システムの構築につながる研究を行う。文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って研究を実施し、博士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	kokamoto@shitennoji.ac.jp
	小林 裕美	在宅で療養する人に対する看護ケア方法の開発や、在宅におけるエンドオブライフケア、在宅における家族支援、訪問看護の質的評価の探究等の研究課題に関して、文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って事例研究や調査等を実施し、その結果を博士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	h-koba@shitennoji.ac.jp
	乗越 千枝	在宅ケアに向けた退院指導および継続看護・連携などに関する研究課題に関して、文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って事例研究や調査等を実施し、その結果を博士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	norikosi@shitennoji.ac.jp
	亀井 縁	国内外において発生した災害に関わる支援方法や看護教育等の研究課題に関して、文献検索に基づき研究計画の立案、また倫理審査の受審を経て、計画に沿って事例研究や調査等を実施し、その結果を博士論文としてまとめる全研究過程を指導する。	y-kamei@shitennoji.ac.jp

IV 出願資格の事前審査

本要項 P.7記載の出願資格(1)の⑦、⑧、または P.11記載の出願資格⑤により出願を希望する方は、次の書類を取り揃えて送付し、出願資格の事前審査を受けてください。**上記以外の資格を有する方は、下記の手順は必要ありません。**

(1) 必要書類

	必要書類	摘 要
①	出願資格審査申請書 【本学所定様式】※	本学所定の用紙を使用。パソコン、直筆とも可。 研究業績（論文、学会発表、院内発表等）があれば、写しを添付すること。
②	最終学校の卒業証明書	最終出身学校の学校長が作成し、厳封したもので発行日から6カ月以内のもの。
③	出願資格審査結果通知用封筒	定型封筒（長形3号）に郵便切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。
④	研究業績等調書 【本学所定様式】※	本学所定の用紙を使用。パソコン、直筆とも可。 教育業績や研究業績等を記載してください。

※①④の様式は、ホームページの入試情報 NAVI よりダウンロードすることができます。

また、②④は大学院入学試験出願時の出願書類に充当することができます。

(2) 受付期間

受付期間を設けています。下記期間内に必着するように郵送してください。封筒の表に、「出願資格審査申請書 在中」と朱書きし、必ず簡易書留速達郵便としてください。

日 程	受付期間
9月選考	2023年7月24日（月）～7月27日（木） 必着
2月選考	2023年12月5日（火）～12月8日（金） 必着

(3) 送付先

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1
入試・広報課

(4) 審査結果の通知

審査の結果は、9月選考：2023年8月3日（木）、2月選考：2023年12月15日（金）を目途に申請者宛に発送します。（到着は翌日以降となる見込みです）

V 多様な受験生、不慮の事故等による負傷者・疾病者等への対応について

- 1 受験時や入学後の修学等において特別な配慮を必要とされる場合は、必ず出願開始の1カ月前までに申請書類等の提出が必要となりますので、早めに入試・広報課にご相談ください。本学としては、個別配慮や施設面等の改善に努力しておりますが、ご相談の内容によっては受験時及び入学後の修学上の対応ができず、特別の措置を講じることができない場合がありますのでご了承ください。
なお、入学後の修学等において特別な配慮を必要とされる方は、実習実施の関係等で資格取得や卒業に支障が生ずる場合がありますので、必ず事前にご相談ください。
※上記の申し出が無い場合や、申し出期限以降に相談があった場合などは、可能な受験上の配慮や入学後の修学の配慮ができない場合がありますので、必ず事前にご相談ください。

- 2 出願後の不慮の事故による負傷や疾病により、受験時に特別な配慮を必要とされる場合は、早めに入試・広報課まで申し出てください。また、それらの事由により受験できなかった方への追試験は行っておりません。

VI 受験するにあたって

- 1 **受験票、筆記用具**は、試験当日必ず持参してください。万一紛失したり、忘れた場合は、入試係まで申し出てください。
- 2 試験開始20分前までに指示された試験場に集合してください。
- 3 試験場では指定された席につき、監督者の指示に従ってください。
- 4 **試験場内では、携帯電話の使用を禁止します**。試験場に入る前に必ず電源を切ってください。また、時計として使用することも認めません。また、通信機能や録音機能付きの腕時計型端末などの電子機器類の使用は禁止します。
- 5 不正行為を行った場合は退場を命じ、不合格とします。
- 6 試験開始後、20分以上の遅刻者は受験できません。
- 7 試験会場の下見は、教室に入ることができません。場所の確認だけになります。
- 8 本学には駐車場がありますが、交通渋滞等で試験に遅刻する場合がありますので、車での来学は見合わせてください。また、入学試験当日、スクールバスは運行していませんので、**公共の交通機関を利用**してください。

VII 入学手続

- 1 入学金・授業料等の納入は、入学手続期間内に行ってください。入学手続期間を過ぎるといかなる理由があっても受け付けません。
- 2 入学手続時の提出書類の詳細は、合格通知書送付の際にお知らせします。

VIII 学費等

2024年度入学生学費等（初年度）

種 別 \ 学 期		入 学 手 続 時 納 付 金	冬 学 期 納 付 金
学 納 金	入 学 金	200,000 円	—
	授 業 料	190,000 円	190,000 円
	運 営 維 持 費	55,000 円	55,000 円
	施 設 拡 充 費	55,000 円	55,000 円
同 窓 会 費（委 託 徴 収）		10,000 円	—
合 計		510,000 円	300,000 円

(1) 入学金・同窓会費は入学時のみ必要です。

(2) 授業料・運営維持費・施設拡充費は、入学手続時と冬学期に分けて納入してください。

(3) 授業料等の額は2年次以降変更することがあります。

(4) 専門看護師コースを希望する場合は、別途実習費を徴収します。

(5) 長期履修許可者の学費は、標準修業年限分の額です。

IX 入学辞退

入学手続時納付金納入後に入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納付金を返金します。

入学を辞退する場合は、入学辞退届を送付または持参してください。入学辞退届を本学で受理後、下表の返還予定日に入学金を除く入学手続時納付金を返還します。

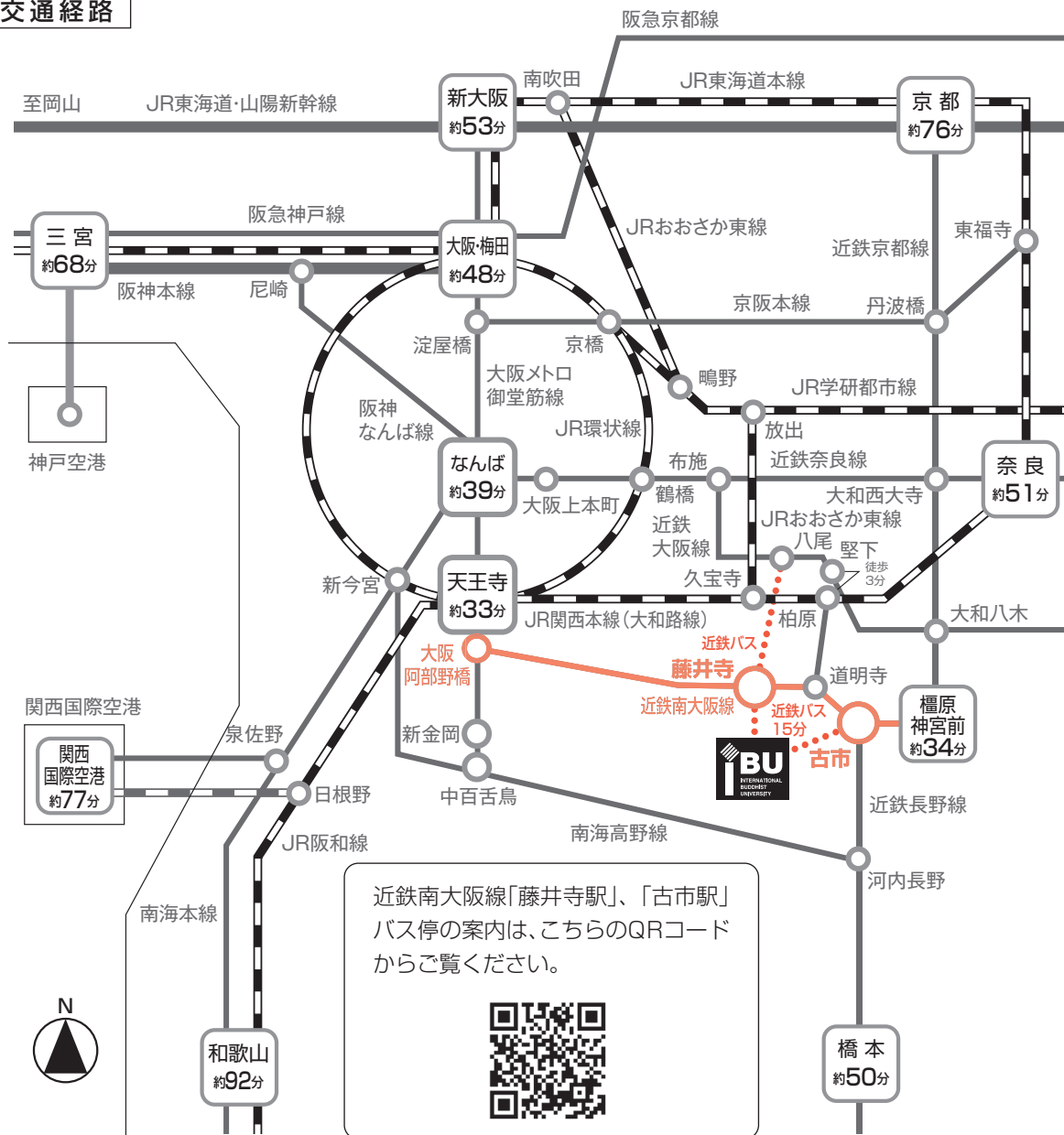
2024年3月29日（金）17：00以降は、いかなる理由があっても受け付けません。

	辞 退 届 提 出 日	返 還 予 定 日
第 1 回	2024年2月19日(月) 17：00まで〔必着〕	2024年3月12日(火)
第 2 回	2024年3月 4 日(月) 17：00まで〔必着〕	2024年3月26日(火)
第 3 回	2024年3月29日(金) 17：00まで〔必着〕	2024年4月19日(金)

X 交通手段について

本学へは、近鉄南大阪線 大阪阿部野橋駅より準急に乗車し、藤井寺駅で下車。または、橿原神宮前駅・河内長野駅方面からは古市駅で下車。いずれの駅からも、近鉄バス四天王寺大学行に乗車し、終点で下車してください（大阪阿部野橋駅へは、JR天王寺駅・大阪メトロ天王寺駅より徒歩約5分です）。

交通経路



■鉄道利用

新幹線利用および京都・神戸方面から
新大阪駅又は大阪(梅田)駅を経由し、JR大阪環状線又は
大阪メトロ 御堂筋線を利用して天王寺(大阪阿部野橋)駅へ。

■航空機利用

関西国際空港からJR線で天王寺(大阪阿部野橋)駅下車。
大阪空港から空港バスであべの橋バス停下車。

※入学試験当日、スクールバスは
運行していません。



四天王寺大学大学院

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1
TEL.072-956-3181(代)

ホームページへのアクセスは、<https://www.shitennoji.ac.jp/ibu/>